

卒業生の メッセージ

平成20年度普通科卒業

ささき かずよ
佐々木 和代さん



ー佐々木先生の経歴を教えてください。

宮城県栗原市立若柳中学校を卒業して附属高校へ。高校卒業後は千葉県にある城西国際大学へ進学しました。大学卒業後に出身地である宮城県へ帰り、現在は聖ドミニコ学院中学校高等学校に勤務しています。小学校から現在まで、ずっと剣道を続けています。

ーなぜ剣道を始められたのですか？

もともと身体を動かすことが好きで、小学2年生の時に友人に勧められて始めました。

ーかれこれ20年以上、みたいな？

はい、長くなりましたw

ーなぜ附属高校を志望したのですか？

中学生の時に附属高校剣道部の稽古に参加させていただいた際に、松尾先生の技術面だけではなく人間性を主とした心に響くお話をお聞きし、私も附属高校で剣道だけではなく人間性も高めたいと思い志望しました。また、明確な目標を持って練習に取り組んでいる先輩方がとても輝いており、一緒に全国で活躍したいと思いました。

ー高校時代の思い出を教えてください。

高校3年生4月のホームルームで今年の目標を話す時に、私と同じ苗字の生徒が3名いたのですが、それぞれ、バレーボール部、弓道部、剣道部でインターハイに行く！と宣言しました。そして、その宣言は現実となり、各部活動インターハイに出場することができて、無事に顧問の先生を沖縄に連れて行くことができました。今でも忘れられない思い出です。

ー佐々木先生は中学・高校時代に文武両道で通していらっしゃいましたが、文武両道を果たすために心がけていたことなどはありますか？

先生方からご指導いただいたことは、素直に聞いてすぐに実行すること。分からないことをそのままにせず解決するために行動すること。自分が苦手な分野は、人に聞いて教えてもらうこと。などです。

ー附属高校の先生方の印象はどのようなものでしたか？

普段はとても優しく、時には厳しく、先生方一人ひとりが生徒のことを真剣に考えてくださるのを実感していました。常に生徒に対して全力で向き合ってくださったことに心から感謝しています。

ー高校時代に得たもので、現在も役立っているものは何ですか？

日常生活の大切さです。ただ強い選手はいつか崩れます。しかし、日常生活から自分を常に律しながら努力を積み重ねている人は、大切な場面で力を発揮します。私はこの教えを現在の教育現場の指導に生かしています。

ー現在取り組んでいらっしゃることを、支障のない範囲で教えてください。

部活では、メンタルトレーニングに力を入れています。心こそ最強の武器という言葉があるように、心の土台ができてこそ最高のパフォーマンスが発揮されると感じています。それは、スポーツだけでなくこれからの社会で生き抜くためにも大切な力だと思います。

ー佐々木先生にとって、「剣道」とはどのような存在ですか？

人生そのものです。剣道を通して、多くの友人、全国の方々との繋がりができました。選手として頑張った経験は、努力する大切さと共に、今でも自分に自信を持たせてくれています。また指導者としては、これまでの経験から得た知識をさらに現代風にアレンジし、指導者主導ではなく生徒主体で部活運営をするようになって結果が出るようになりました。

ー中学生に向けてメッセージをお願いします。

夢と希望に満ち溢れた皆さん！附属高校では、皆さんの夢を実現する環境が整っています。自分の可能性に挑戦し、充実した学校生活が送れるよう応援しています！

ー佐々木先生、ありがとうございました。今後のご活躍も、心からお祈りしています！

Profile

- 2008年 宮城県栗原市立若柳中学校卒業
- 2008年 郡山女子大学附属高等学校入学
- 全国高等学校総合体育大会剣道競技 個人出場
- 2011年 城西国際大学経営情報学部入学
- 全日本女子大学剣道優勝大会 団体出場
- 全日本女子剣道選手権大会 福島県代表として個人出場
- 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 福島県代表として個人出場
- 2015年 城西国際大学経営情報学部卒業
- 2015年 聖ドミニコ学院中学校高等学校勤務
- 聖ドミニコ学院中学校剣道部顧問
- 全国中学校剣道大会 団体準優勝(2022年)
- 全国中学校剣道大会 個人優勝(2023年)
- 全国中学校剣道大会 個人ベスト8(2024年)